

三重大学大学院 医学系研究科・医学部

三重大学医学部附属病院

概要 2020

Mie University Graduate School of Medicine /
Faculty of Medicine and Mie University Hospital Outline

OUTLINE 2020





基本理念

確固たる使命感と倫理観をもつ医療人を育成し、豊かな創造力と研究能力を養い、人類の健康と福祉の向上につとめ、地域および国際社会に貢献する。



基本理念

本院は、信頼と安心が得られる地域医療の拠点として、未来を拓く診療・研究を推進し、人間性豊かな優れた医療人を育成する。

基本方針

- ◆ 地域の拠点病院として、安全で質の高い先進的な医療を提供します。
- ◆ 臨床研修機関として、次代の担い手となる人間性豊かな人材を育成します。
- ◆ 新しい医療を目指す臨床研究を推進し、社会に貢献します。
- ◆ 医療・医育機関との連携・支援を推進し、地域医療の発展に尽くします。
- ◆ 疾病の予防を目指した教育・研究を推進します。
- ◆ 上記の基本方針を推進するために、健全で成長性のある病院経営を行います。



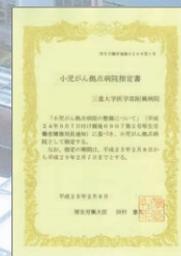
公益財団法人 日本医療機能評価機構認定証



「女性が動きやすい医療機関」認証書



がんゲノム医療拠点病院指定書



小児がん拠点病院指定書



特定行為研修指定研修機関指定証

目次 Contents

- 01 基本理念
- 02 ご挨拶
- 04 沿革
- 06 組織図
 - ▶ 職員・学生について
- 08 ▶ 役職員
 - ・大学院医学系研究科・医学部
 - ・医学部附属病院
- 11 ▶ 職員現員
- 11 ▶ 歴代研究科長等
- 12 ▶ 学生
 - ・医学部
 - ・大学院医学系研究科
- ▶ 大学院医学系研究科・医学部について
- 14 ▶ 図書及び雑誌
- 14 ▶ 国際交流
- 15 ▶ 解剖体数
- 15 ▶ 科学研究費助成事業採択状況
- 15 ▶ 外部資金受入状況
- ▶ 医学部附属病院について
- 16 ▶ 病院各階案内図
- 17 ▶ 附属病院の業務状況
- 19 ▶ 医療行為統計
- 21 ▶ 医療機関等の指定状況等
- 26 敷地及び建物面積
- 27 建物配置図
- 28 所在地・アクセス

三重大学大学院医学系研究科・医学部 医学系研究科長・医学部長 ご挨拶

三重大学医学部は、第二次世界大戦の戦時中であった1944(昭和19)年4月に三重県立医学専門学校として開校されました。戦後、医学教育審議会の審議を経て、1947(昭和22)年6月に三重県立医科大学が設置されました。1948(昭和23)年4月には看護学科の前身である三重大学立医科大学附属医院甲種看護婦養成所が開校されました。1950(昭和25)年3月に水産学部とともに三重大学が設置され、1952(昭和27)年2月には三重大学立大学医学部が設置されました。大学院は1959(昭和34)年3月に三重大学立大学大学院として設置されました。そして、1972(昭和47)年5月に国立移管され、ここで三重大学医学部となりました。それに伴い、1973(昭和48)年10月には三重大学医学部附属病院が、1974(昭和49)年4月には三重大学医学部附属看護学校が、1975(昭和50)年4月には三重大学大学院医学研究科博士課程が設置されました。1997(平成9)年10月には三重大学医学部看護学科が設置され、その後は医学科と2学科制になりました。2001(平成13)年4月に医科学専攻修士課程が、2002(平成14)年4月に看護学専攻修士課程が設置されましたが、その後2003(平成15)年4月には大学院医学系研究科博士課程が改組されて生命医科学専攻博士課程が設置され、2016(平成28)年4月には看護学専攻修士課程が改組されて博士前期課程と後期課程が設置されました。

三重大学医学部の基本理念は、「確固たる使命感と倫理観をもつ医療人を育成し、豊かな創造力と研究能力を養い、人類の健康と福祉の向上につとめ、地域および国際社会に貢献する。」です。三重県唯一の医学系研究科・医学部として、職業人としての道徳性や学士力に加えて素晴らしい能力と実行力を備えた医師、看護師、研究者を養成するとともに指導力を発揮できる医療人の育成に努めています。医学科では、PBLチュートリアルなどのアクティブラーニングを積極的に導入し、6年間にわたって医学研究に取り組

む新医学専攻コースや学生全員が研究計画書や発表を英語で実施する研究室研修を実施しています。さらに、第6学年の約半数が参加する海外臨床実習、第1-3学年を対象にした早期海外体験実習、専門英語教育、体系的国際保健医療授業など特色のある国際化教育を実施しています。また、地域医療のために、三重県地域医療支援センター、三重県地域医療対策協議会、関連教育病院の協力を得て、6年間を通して地域で学べる体制を整備しています。そして今年、日本医学教育評価機構(JACME)による医学教育分野別評価を受審致しました。看護学科では、早期海外体験実習と地域で暮らす生活者のニーズをとらえた統合実習を実施しています。

国際的に高く評価される研究実績を発信することも重要課題の一つです。医学系研究科には、大学院博士課程「生命医科学専攻」、修士課程「医科学専攻」、大学院博士後期課程「看護学専攻」、前期課程「看護学専攻」を設置しています。独自の教育プログラムを設け、地域や国際社会の健康と福祉に貢献できる次世代の高度専門医療人や医学研究者の涵養を目指しています。また、医学部附属病院との連携を密に保ち、地域の方々に安全で質の高い先進的な医療を提供することも大切であると考えています。

私達は、優れた医療人を育成し、学術成果を世界に向けて発信する医学系研究科・医学部として三重県の医療および国際社会に貢献できるように邁進していきたいと考えています。

医学系研究科長・医学部長
湊藤 啓広



三重大学医学部附属病院 病院長 ご挨拶

本院は三重県唯一の特定機能病院(一般の病院などから紹介された高度先端医療行為を必要とする患者に対応する病院として厚生労働大臣の承認を受ける)であり、三重県の医療における最後の砦として県民、市民のみならずの期待に応えられる医療の提供に努めています。津市の二次救急体制調整会議では、本院は三次救急(一次救急や二次救急では対応できない重症・重篤患者に対しておこなう医療、本院では2ヶ月毎にドクターヘリの運用も行う)を担っておりますが、月に2~3回は二次救急も担当することになっています。本院の救命救急センターは、今年3月に厚生労働省が発表した「平成31年~令和元年度救命救急センターの充実段階評価(全国292の救命救急センターを対象)」において、最も高い「S」評価を受けることができました。S評価を受けた救命救急センターは、当院を含め全国で76施設、国立大学法人附属病院では10施設のみです。

がんセンターのない三重県において、本院は三重大学がんセンターを開発していますが、ここが中心となり県下の病院とがん診療のネットワークを構築しています。本院は、都道府県がん診療連携拠点病院(全国51施設)であるとともに、小児がん拠点病院(全国15施設)でもあります。さらに、個々のがん患者に最適な医療を提供するため、がんゲノム医療を牽引する高度な医療機関を目指してきましたが、その努力が報われ昨年9月には、がんゲノム医療拠点病院(全国34施設)の認定を受けることができました。

中央手術部では、各診療科が行う高度先端医療に対応するために、ハイブリッド手術室を完備するとともに、臓器移植(腎移植・肝移植など)、新生児手術、ロボット支援下内視鏡手術(ダ・ヴィンチ:現在2台が稼働)、腹腔鏡・胸腔鏡などの鏡視下手術など幅広い手術に対応しています。平成29(2017)年より形成外科とリウマチ・膠原病センターの診療活動も開始し、順調な滑り出しをして頂いています。さらにリハビリテーション部の充実をさせるために本年3月1日からリハビリテーション科が新設されました。

・令和の時代に進むべき道

令和の時代に附属病院が進むべき道として、私は7つの柱を立てました。すなわち、高い倫理観・安全文化のもとに、(1)救命救急・総合集中治療センターのさらなる強化、(2)先端医療の推進、(3)リハビリテーション診療の強化、(4)病院防災機能の強化(津地区には巨大地震が684年から1944年までに9回襲っていることを記憶し、生きたBCPを職員全員で共有できるようにする)、(5)地域医療への貢献、(6)AIの導入(画像診断、診療支援、事務作業支援など)、(7)IoT、IoT時代への対応(スマートホスピタル計画)です。本院はこれまで災害対策に関する具体的な対応が十分でなかったことから、本年1月に災害対策推進室を立ち上げました。本院は、他

の病院にはない災害レベルを設けているのが特徴です。すなわち、津波による被害を受けた際のレベルを最高レベル5「籠城」としてあります。因みに、明応7年8月25日辰刻(1498年9月11日8時頃)に、東海道沖で発生した明応地震で津地区は甚大な被害を受けたことが記録されています。この地震は南海トラフ沿いの巨大地震と推定されています。当時、「安濃津」は、日本の十大港湾都市、すなわち三津七湊(さんしんしちそう)の一つで、繁栄した港街として内外に知られ、数千戸が軒を連ねていましたが、大津波が安濃津の港街を襲い、街の繁栄は一瞬の間に消滅しました。災害対策は常日頃から職員全員が意識し、訓練を行う必要があります。これを可能にするために、医学部生及び職員全員への教育・訓練を行う必要があることから、附属病院に「災害対策推進・教育センター(仮称)」を設置する予定です。

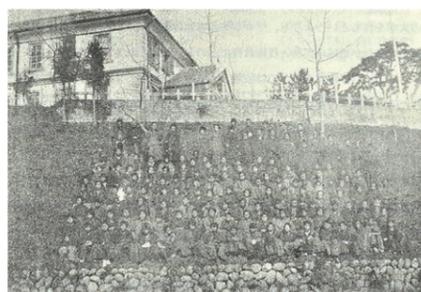
今回の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックは私たちの生活を一変させました。本院は、4月~5月の緊急事態宣言下では、県内の重症患者を受け入れるために救命救急・総合集中治療センターにあるHCU(高度治療室)のうち6床(うち、ECMO「体外式膜型人工肺」用2床)を人工呼吸器管理が必要な重症患者の受け入れ用として準備し、さらに重症患者の回復期ケアを可能にするために一般病棟をCOVID-19専用病棟としました(6月末で終了)。救急外来においては、患者さんはすべてCOVID-19陽性者として対応し、N95マスクの着用による個人用防護具(PPE)で対応しなくてはならず、救命救急・総合集中治療センターのスタッフへの負担増となっています。本院は、病院内の感染対策として「感染制御部」を設けていますが、ここには専門資格を有した医師・看護師・薬剤師・検査技師がいます。今回のコロナ禍を経験し、感染制御部のさらなる拡充が急務であり、スペースの拡充と人員の増員を行う予定です。

最後になりますが、倫理・安全文化の醸成のもと、風通しがよく、生き生きとした学習する組織を構築することで、未来を拓く診療・研究を推進し、質の高い医療を実践できるように、病院長として「号令・命令・訓令」を使い分けた強いリーダーシップを発揮しますので、今後ともみなさまのご支援をお願い申し上げます。

病院長
伊佐地 秀司



- 1876 ● [5月]
明治9年 三重県医学校が安濃郡塔世村(現在の津市栄町)
三重県公立病院内に設立される
- 1883 ● [9月]
明治16年 文部省より甲種医学校(全国で13校)として認可される
- 1889 ● [9月]
明治22年 三重県公立病院の施設を私立今井病院に貸与
- 1910 ● [4月1日]
明治43年 私立今井病院の貸与期間満了につき
三重県から移管され津市立病院となる
- 1943 ● [12月10日]
昭和18年 三重県立医学専門学校設立/
津市立病院が移管され同附属病院となる
- 1944 ● [4月]
昭和19年 三重県立医学専門学校開校
- 1947 ● [6月18日]
昭和22年 三重県立医科大学設置
- 1948 ● [4月1日]
昭和23年 三重県立医科大学附属医院厚生女学部(甲種看護婦養成所)開校
- 1950 ● [3月14日]
昭和25年 三重県立大学設置
- 1952 ● [2月20日]
昭和27年 三重県立大学医学部設置
- 1959 ● [3月20日]
昭和34年 三重県立大学
大学院医学研究科設置
- 1972 ● [5月1日]
昭和47年 三重大学医学部設置



三重県甲種医学校(津市栄町)



※戦時中:黒塗り
医学専門学校附属病院本館(現・県立美術館周辺)



三重県立大学 大谷町校舎



医学基礎校舎(津市栄町安濃川(塔世橋)周辺)

- 1973 ● [10月1日]
昭和48年 三重大学医学部附属病院設置
三重県立大学医学部附属病院を国立移管
- 1975 ● [4月1日]
昭和50年 三重大学大学院医学研究科(博士課程)設置
- 1991 ● [3月31日]
平成3年 三重大学医学部附属看護学校廃止
- 1997 ● [10月1日]
平成9年 医学部に看護学科を設置
- 2001 ● [4月1日]
平成13年 大学院医学研究科に医科学専攻(修士課程)を設置
- 2002 ● [3月20日]
平成14年 附属病院に卒後臨床研修部を設置
- 2003 ● [4月1日]
平成15年 大学院医学系研究科を改組し「生命医科学専攻」を設置
- 2006 ● [6月28日]
平成18年 附属病院にがんセンターを設置
- 2012 ● [2月1日]
平成24年 三重県ドクターヘリの運航を開始
- 2013 ● [9月1日]
平成25年 小児トータルケアセンターを設置
- 2015 ● [2月1日] 専門医研修支援センターを設置
平成27年 [5月7日] 新外来・診療棟開院
- 2016 ● [4月1日]
平成28年 看護学専攻(博士前期課程)と
看護学専攻(博士後期課程)を設置

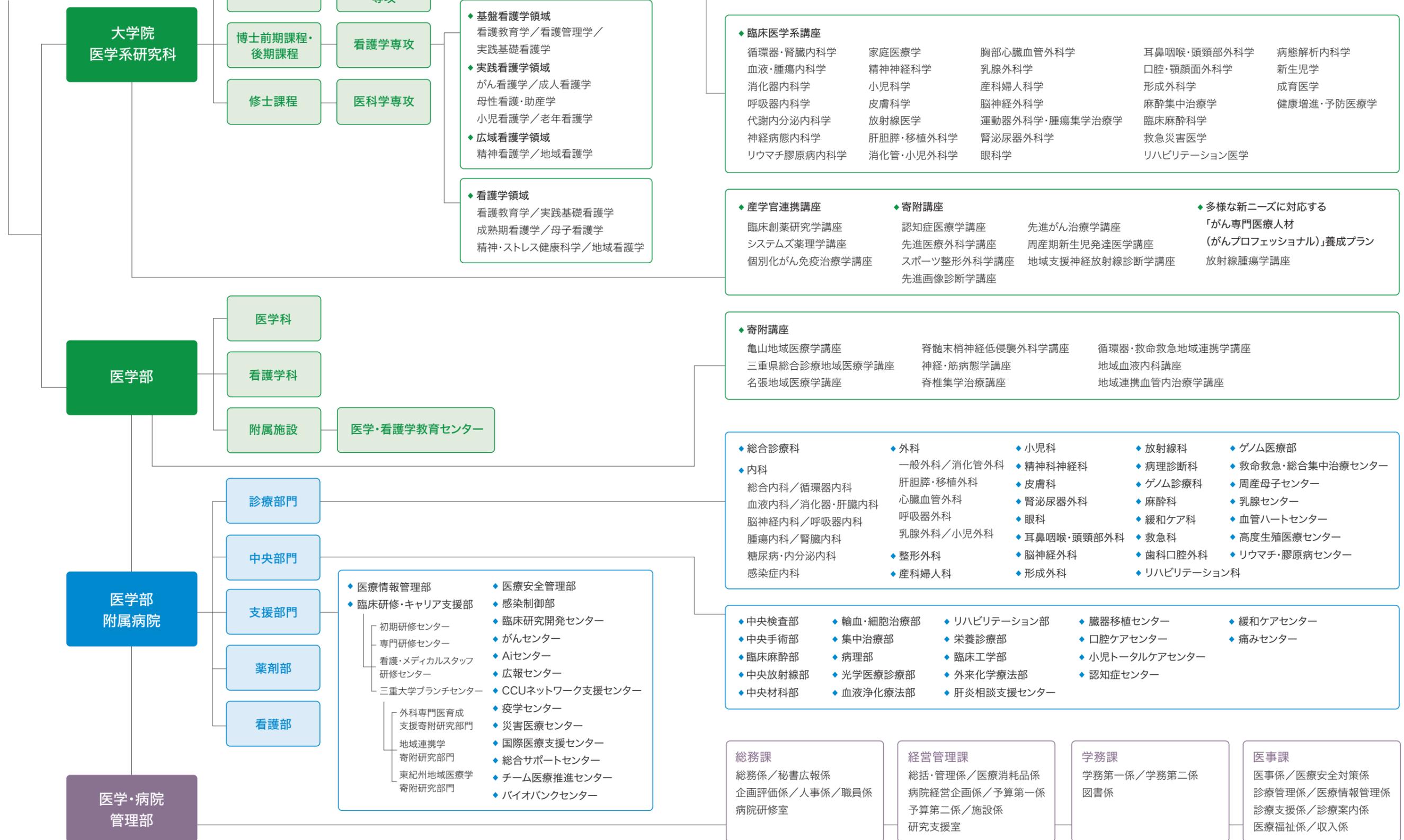


旧 医学部附属病院(津市江戸橋)



医学部看護学科校舎





- ◆ 基盤看護学領域
看護教育学／看護管理学／実践基礎看護学
- ◆ 実践看護学領域
がん看護学／成人看護学
母性看護・助産学
小児看護学／老年看護学
- ◆ 広域看護学領域
精神看護学／地域看護学

- ◆ 看護学領域
看護教育学／実践基礎看護学
成熟期看護学／母子看護学
精神・ストレス健康科学／地域看護学

- ◆ 基礎医学系講座

組織学・細胞生物学	分子生理学	分子病態学	環境分子医学	免疫制御学
発生再生医学	修復再生病理学	感染症制御医学・分子遺伝学	公衆衛生・産業医学	動物機能ゲノミクス
機能プロテオミクス	腫瘍病理学	免疫学	法医学科学	遺伝子病態制御学
幹細胞発生学	統合薬理学	医動物・感染医学	医学医療教育学	

- ◆ 臨床医学系講座

循環器・腎臓内科学	家庭医療学	胸部心臓血管外科学	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	病態解析内科学
血液・腫瘍内科学	精神神経科学	乳腺外科学	口腔・顎顔面外科学	新生児学
消化器内科学	小児科学	産科婦人科学	形成外科学	成育医学
呼吸器内科学	皮膚科学	脳神経外科学	麻酔集中治療学	健康増進・予防医療学
代謝内分泌内科学	放射線医学	運動器外科学・腫瘍集学治療学	臨床麻酔科学	
神経病態内科学	肝胆膵・移植外科学	腎泌尿器外科学	救急災害医学	
リウマチ膠原病内科学	消化管・小児外科学	眼科学	リハビリテーション医学	

- ◆ 産学官連携講座

臨床創薬研究学講座	認知症医療学講座	先進がん治療学講座
システムズ薬理学講座	先進医療外科学講座	周産期新生児発達医学講座
個別化がん免疫治療学講座	スポーツ整形外科学講座	地域支援神経放射線診断学講座
- ◆ 寄附講座

先導画像診断学講座

- ◆ 多様な新ニーズに対応する
「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン
放射線腫瘍学講座

- ◆ 寄附講座

亀山地域医療学講座	脊髄末梢神経低侵襲外科学講座	循環器・救命救急地域連携学講座
三重県総合診療地域医療学講座	神経・筋病態学講座	地域血液内科講座
名張地域医療学講座	脊椎集学治療講座	地域連携血管内治療学講座

- ◆ 総合診療科
- ◆ 内科

総合内科／循環器内科	血液内科／消化器・肝臓内科	脳神経内科／呼吸器内科	腫瘍内科／腎臓内科	糖尿病・内分泌内科	感染症内科
------------	---------------	-------------	-----------	-----------	-------
- ◆ 外科

一般外科／消化管外科	肝胆膵・移植外科	心臓血管外科	呼吸器外科	乳腺外科／小児外科	◆ 整形外科	◆ 産科婦人科
------------	----------	--------	-------	-----------	--------	---------
- ◆ 小児科

◆ 精神科神経科	◆ 皮膚科	◆ 腎泌尿器外科	◆ 眼科	◆ 耳鼻咽喉・頭頸部外科	◆ 脳神経外科	◆ 形成外科
----------	-------	----------	------	--------------	---------	--------
- ◆ 放射線科

◆ 病理診断科	◆ ゲノム診療科	◆ 麻酔科	◆ 緩和ケア科	◆ 救急科	◆ 歯科口腔外科	◆ リハビリテーション科
---------	----------	-------	---------	-------	----------	--------------
- ◆ ゲノム医療部

◆ 救命救急・総合集中治療センター	◆ 周産母子センター	◆ 乳腺センター	◆ 血管ハートセンター	◆ 高度生殖医療センター	◆ リウマチ・膠原病センター
-------------------	------------	----------	-------------	--------------	----------------

- ◆ 中央検査部
- ◆ 中央手術部
- ◆ 臨床麻酔部
- ◆ 中央放射線部
- ◆ 中央材料部
- ◆ 輸血・細胞治療部
- ◆ 集中治療部
- ◆ 病理部
- ◆ 光学医療診療部
- ◆ 血液浄化療法部
- ◆ リハビリテーション部
- ◆ 栄養診療部
- ◆ 臨床工学部
- ◆ 外来化学療法部
- ◆ 肝炎相談支援センター
- ◆ 臓器移植センター
- ◆ 口腔ケアセンター
- ◆ 小児トータルケアセンター
- ◆ 認知症センター
- ◆ 緩和ケアセンター
- ◆ 痛みセンター

- 総務課
総務係／秘書広報係
企画評価係／人事係／職員係
病院研修室
- 経営管理課
総括・管理係／医療消耗品係
病院経営企画係／予算第一係
予算第二係／施設係
研究支援室
- 学務課
学務第一係／学務第二係
図書係
- 医事課
医事係／医療安全対策係
診療管理係／医療情報管理係
診療支援係／診療案内係
医療福祉係／収入係

職員・学生について

役職員 Faculty and Administrative Office

(令和2年5月1日現在)

大学院医学系研究科・医学部

医学系研究科長	湊藤 啓広	医学部長	湊藤 啓広
教育研究評議会評議員	村田 真理子	看護学専攻長	林 智子
副研究科長	島岡 要	看護学専攻長	林 智子
副研究科長	野阪 哲哉		

大学院医学系研究科

▶ 基礎医学系講座

[教育研究分野]

組織学・細胞生物学	教授	後藤 英仁	免疫学	教授	ガバザ・エステバン
発生再生医学	教授	成田 正明	医動物・感染医学	教授	油田 正夫
機能プロテオミクス	教授	竹本 研	環境分子医学	教授	村田 真理子
幹細胞発生学	教授	山崎 英俊	公衆衛生・産業医学	教授	笠島 茂
分子生理学	教授	稲垣 昌樹	法医学科学	教授	(渡邊 昌俊)
修復再生病理学	教授	(渡邊 昌俊)	医学医療教育学	教授	堀 浩樹
腫瘍病理学	教授	渡邊 昌俊	免疫制御学	連携教授	保富 康宏
統合薬理学	教授	西村 有平	動物機能ゲノミクス	准教授	(鈴木 昇)
分子病態学	教授	島岡 要	遺伝子病態制御学		
感染症制御医学・分子遺伝学	教授	野阪 哲哉			

[臨床医学系講座]

循環器・腎臓内科学	教授	(中島 亜矢子)	運動器外科学・腫瘍集学治療学	教授	湊藤 啓広
血液・腫瘍内科学	教授	(平山 雅浩)	腎泌尿器外科学	教授	井上 貴博
消化器内科学	教授	竹井 謙之	眼科学	教授	近藤 峰生
呼吸器内科学	教授	(竹井 謙之)	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	教授	竹内 万彦
代謝内分泌内科学	教授	(竹井 謙之)	口腔・顎顔面外科学	教授	新井 直也
神経病態内科学	教授	富本 秀和	形成外科学	教授	成島 三長
リウマチ膠原病内科学	教授	中島 亜矢子	麻酔集中治療学	教授	丸山 一男
家庭医療学	教授	(湊藤 啓広)	臨床麻酔科学	教授	亀井 政孝
精神神経科学	教授	岡田 元宏	救急災害医学	教授	今井 寛
小児科学	教授	平山 雅浩	リハビリテーション医学	教授	百崎 良
皮膚科学	教授	山中 恵一	病態解析内科学	連携教授	白木 克哉
放射線医学	教授	佐久間 肇	〃	連携教授	和田 英夫
肝胆膵・移植外科学	教授	水野 修吾	新生児学	連携教授	田中 滋己
消化管・小児外科学	教授	(水野 修吾)	成育医学	連携教授	藤澤 隆夫
胸部心臓血管外科学	教授	高尾 仁二	〃	連携教授	谷口 清州
乳腺外科学	教授	小川 朋子	健康増進・予防医療学	教授	谷井 久志
産科婦人科学	教授	池田 智明	〃	教授	小林 由直
脳神経外科学	教授	鈴木 秀謙			

[産学官連携講座]

臨床創薬研究学講座	教授	(近藤 峰生)
システムズ薬理学講座	教授	(丸山 一男)

[寄附講座]

認知症医療学講座	准教授	(佐藤 正之)
先進医療外科学講座	准教授	(内田 恵一)
先進がん治療学講座	教授	野本 由人
スポーツ整形外科学講座	教授	(湊藤 啓広)
亀山地域医療学講座	教授	(湊藤 啓広)
〃	教授	若林 英樹
名張地域医療学講座	教授	(湊藤 啓広)
三重県総合診療地域医療学講座	教授	(湊藤 啓広)

個別化がん免疫治療学講座	教授	渡辺 隆
--------------	----	------

循環器・救命救急地域連携学講座	教授	(中島 亜矢子)
先進画像診断学講座	教授	北川 寛也
周産期新生児発達医学講座	教授	松田 直
神経・筋病態学講座	教授	佐々木 良元
脊髄末梢神経低侵襲外科学講座	教授	水野 正喜
脊椎集学治療学講座	教授	(湊藤 啓広)
地域血液内科講座	教授	(平山 雅浩)
地域支援神経放射線診断学講座	教授	前田 正幸

看護学科専攻

基礎看護学	教授	林 智子	実践看護学	教授	仁尾 かおり
〃	教授	今井 奈妙	〃	教授	磯和 勅子
〃	教授	榎屋 正浩	広域看護学	教授	片岡 三佳
実践看護学	教授	辻川 真弓	〃	教授	西出 りつ子
〃	教授	竹内 佐智恵	〃	教授	谷村 晋
〃	教授	新小田 春美	看護学科附属病院連携推進室	教授	門脇 文子

医学部附属病院

病院長(兼)	伊佐地 秀司	副病院長(兼)	江藤 由美
副病院長(兼)	平山 雅浩	副病院長(兼)	兼児 敏浩
副病院長(兼)	佐久間 肇	副病院長(兼)	高尾 仁二
副病院長(兼)	近藤 峰生	副病院長(兼)	堀 浩樹
副病院長(兼)	鈴木 秀謙		

[診療科]

総合診療科長(兼)	若林 英樹
-----------	-------

[内科]

総合内科長(兼)	山本 憲彦	呼吸器内科長(兼)	小林 哲
循環器内科長(兼)	土肥 薫	腫瘍内科長(兼)	伊佐地 秀司
血液内科長(兼)	伊佐地 秀司	腎臓内科長(兼)	村田 智博
消化器・肝臓内科長(兼)	竹井 謙之	糖尿病・内分泌内科長(兼)	矢野 裕
脳神経内科長(兼)	富本 秀和	感染症内科長(兼)	山本 憲彦

【 外科 】

外科系診療科 主任診療科長(兼)	高尾 仁二
一般外科長(兼)	水野 修吾
消化管外科長(兼)	問山 裕二
肝胆膵・移植外科長(兼)	水野 修吾
心臓血管外科長(兼)	庄村 遊
呼吸器外科長(兼)	高尾 仁二
乳腺外科長(兼)	小川 朋子
小児外科長(兼)	内田 恵一
整形外科長(兼)	須藤 啓広
産科婦人科長(兼)	池田 智明
小児科長(兼)	平山 雅浩
精神科神経科長(兼)	岡田 元宏
皮膚科長(兼)	山中 恵一

【 中央診療施設等 】

中央検査部長(兼)	中谷 中
中央手術部長(兼)	亀井 政孝
臨床麻酔部長(兼)	亀井 政孝
中央放射線部長(兼)	佐久間 肇
中央材料部長(兼)	池田 智明
救命救急・総合集中治療センター長(兼)	今井 寛
輸血・細胞治療部長(兼)	大石 晃嗣
周産母子センター長(兼)	池田 智明
集中治療部長(兼)	丸山 一男
医療情報管理部長(兼)	佐久間 肇
病理部長(兼)	渡邊 昌俊
光学医療診療部長(兼)	堀木 紀行
血液浄化療法部長(兼)	片山 鑑
リハビリテーション部長(兼)	百崎 良
栄養診療部長(兼)	兼兒 敏浩
臨床研修・キャリア支援部長(兼)	近藤 峰生
ゲノム医療部長(兼)	中谷 中
臨床研究開発センター長(兼)	田丸 智巳
医療安全管理部長(兼)	兼兒 敏浩
感染制御部長(兼)	兼兒 敏浩
臨床工学部長(兼)	須藤 啓広
がんセンター長(兼)	中瀬 一則

【 薬剤部 】

薬剤部長	池田 智明
------	-------

【 医学・病院管理部 】

管理部長	井澤 克弘
総務課長	伊藤 敦士
総務課副課長	小西 孝博
〃	森本 真行
経営管理課長	伊藤 利宏
経営管理課副課長	長谷川 和也

腎泌尿器外科長(兼)	井上 貴博
眼科長(兼)	近藤 峰生
耳鼻咽喉・頭頸部外科長(兼)	竹内 万彦
脳神経外科長(兼)	鈴木 秀謙
形成外科長(兼)	成島 三長
放射線科長(兼)	佐久間 肇
病理診断科長(兼)	渡邊 昌俊
ゲノム診療科(兼)	中谷 中
麻酔科長(兼)	丸山 一男
緩和ケア科長(兼)	丸山 一男
救急科長(兼)	今井 寛
歯科口腔外科長(兼)	新井 直也
リハビリテーション科長(兼)	百崎 良

乳腺センター長(兼)	小川 朋子
肝炎相談支援センター長(兼)	竹井 謙之
外来化学療法部長(兼)	水野 聡朗
Aiセンター長(兼)	兼兒 敏浩
広報センター長(兼)	成島 三長
臓器移植センター長(兼)	水野 修吾
血管ハートセンター長(兼)	亀井 政孝
CCUネットワーク支援センター長(兼)	土肥 薫
疫学センター長(兼)	笠島 茂
口腔ケアセンター長(兼)	新井 直也
災害医療センター長(兼)	金子 唯
小児トータルケアセンター長(兼)	岩本 彰太郎
認知症センター長(兼)	佐藤 正之
国際医療支援センター長(兼)	成島 三長
緩和ケアセンター長(兼)	丸山 一男
高度生殖医療センター長(兼)	池田 智明
総合サポートセンター長(兼)	江藤 由美
チーム医療推進センター長(兼)	兼兒 敏浩
リウマチ・膠原病センター長(兼)	中島 亜矢子
痛みセンター長(兼)	丸山 一男
バイオバンクセンター長(兼)	渡邊 昌俊

【 看護部 】

看護部長	江藤 由美
------	-------

経営管理課副課長	駒田 雅彦
〃	藤岡 忍
学務課長	加納 深雪
医事課長	土屋 有司
医事課副課長	寺前 利治
〃	福田 雄一

職員現員 Regular Numbers of Staff

(令和2年5月1日現在)

区分	大学院医学系研究科						医学部		附属病院 (休職者数を含む)	(休職者数)	
	生命医科学 専攻 (休職者数を含む)	(休職者数)	看護学 専攻 (休職者数を含む)	(休職者数)	寄附 講座等 (休職者数を含む)	(休職者数)	寄附 講座等 (休職者数を含む)	(休職者数)			
大学 教員	教 授	31	(0)	11	(0)	6	(0)	3	(0)	9	(0)
	准教授	24	(0)	8	(0)	1	(0)	1	(0)	20	(0)
	講 師	12	(0)	2	(0)	1	(0)	3	(0)	42	(0)
	助 教	36	(0)	11	(0)	3	(0)	17	(0)	139	(3)
	計	103	(0)	32	(0)	11	(0)	24	(0)	210	(3)
									170(0)		
医療技術職員									142	(6)	
看護職員									621	(34)	
その他職員									28(0)	93	(4)
合計									28(0)	1,066	(47)

歴代研究科長等 Chronological Lists Deans and Directors

【 研究科長 】

(令和2年5月1日現在)

鎮西 康雄	平17.4.1～平18.2.9	緒方 正人	平25.4.1～平29.3.31
駒田 美弘	平18.2.10～平22.3.31	片山 直之	平29.4.1～令2.3.31
登 勉	平22.4.1～平25.3.31	須藤 啓広	令2.4.1～

【 医学部長 】

三上 美樹 (事務取扱)	昭47.5.1～昭48.3.31	矢谷 隆一	平6.4.1～平10.2.9
	昭48.4.1～昭49.2.9	珠玖 洋	平10.2.10～平14.2.9
武田 進	昭49.3.10～昭53.3.9	鎮西 康雄	平14.2.10～平18.2.9
井澤 道	昭53.3.10～昭55.2.9	駒田 美弘	平18.2.10～平22.3.31
武田 進	昭55.2.10～昭59.2.9	登 勉	平22.4.1～平25.3.31
横山 實	昭59.2.10～昭61.2.9	緒方 正人	平25.4.1～平29.3.31
伊豆津 公作	昭61.2.10～昭63.2.9	片山 直之	平29.4.1～令2.3.31
杉山 陽一	昭63.2.10～平3.3.31	須藤 啓広	令2.4.1～
水本 龍二	平3.4.1～平6.3.31		

【 附属病院長 】

井澤 道	昭48.10.1～昭52.9.30	坂倉 康夫	平9.4.1～平11.3.31
宮地 一馬	昭52.10.1～昭56.9.30	川村 壽一	平11.4.1～平13.3.31
三吉 康郎	昭56.10.1～昭60.3.31	葛原 茂樹	平13.4.1～平17.3.31
竹澤 英郎	昭60.4.1～昭62.3.31	内田 淳正	平17.4.1～平21.3.31
水本 龍二	昭62.4.1～平元.3.31	竹田 寛	平21.4.1～平25.9.30
草川 實	平元.4.1～平5.3.31	伊藤 正明	平25.10.1～令元.9.30
鈴木 宏志	平5.4.1～平9.3.31	伊佐地 秀司	令元.10.1～

【 附属動物実験施設長 】

塩見 俊朗	昭54.6.16～昭60.3.31	鎮西 康雄	平8.4.1～平12.3.31
坂本 弘	昭60.4.1～平4.3.31	栗林 景容	平12.4.1～平15.3.31
野坂 昭一郎	平4.4.1～平8.3.31		

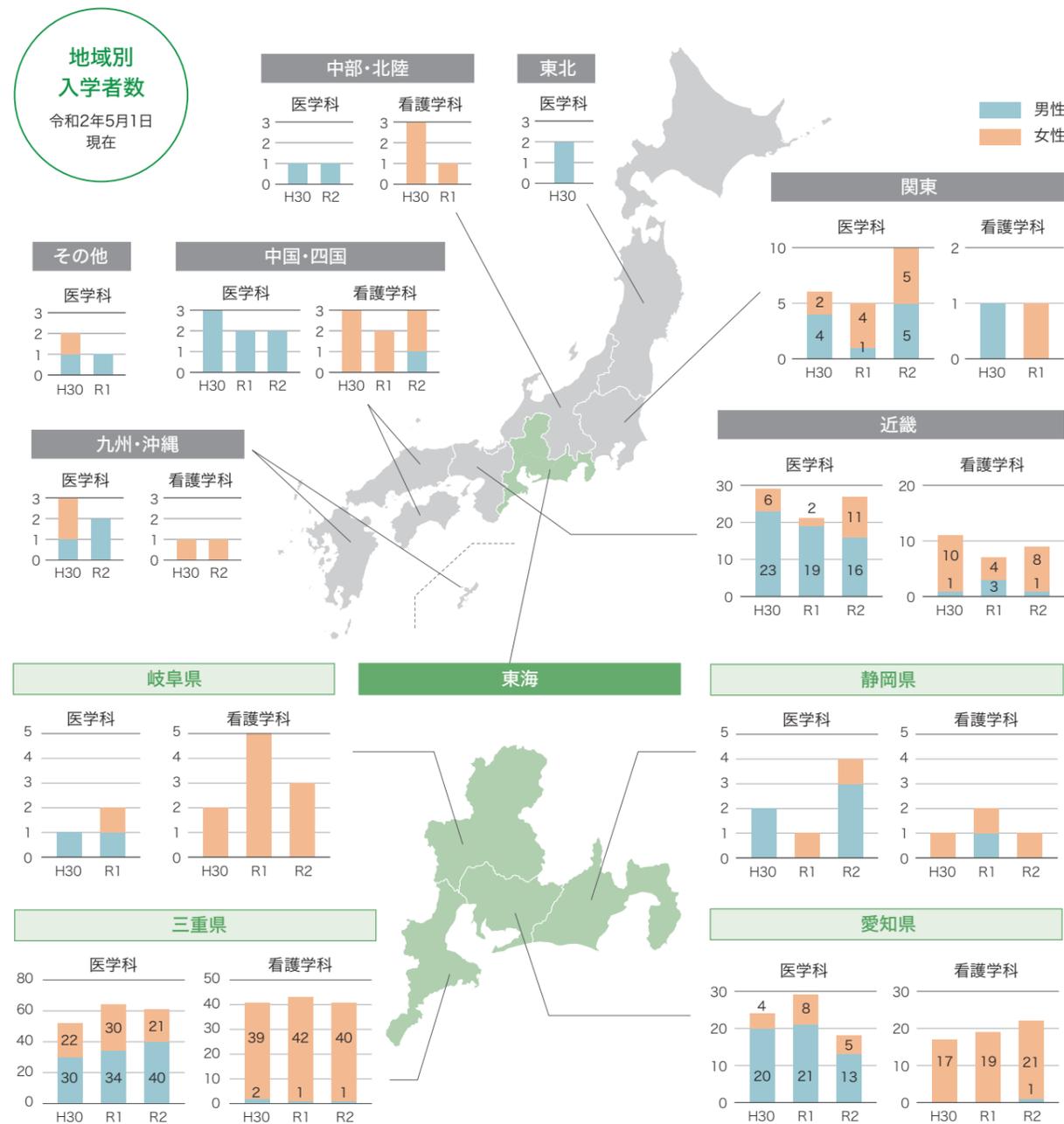
学生 Students

医学部

[入学定員及び現員]

(令和2年5月1日現在)

学科名	区分	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		合計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
医学科	入学定員	125		125		125		125		125		125		750	
	現員	82	43	81	46	94	36	95	41	69	45	96	33	517	244
看護学科	入学定員	80		80		90 (3年次編入10名含む)		90 (3年次編入10名含む)						340	
	現員	4	76	6	77	4	76	4	83					18	312



[卒業者数]

(令和2年5月1日現在)

学科名	昭和51年度～平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31/令和元年度	計
医学科	3,525	100	103	109	118	126	122	127	119	129	4,578

内訳

- ・三重県立医学専門学校 ……277名
- ・三重大学医学部医学科 ……4,578名
- ・三重県立医科大学 ……161名
- ・三重県立大学医学部 ……930名

(令和2年5月1日現在)

学科名	平成13年度～平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31/令和元年度	計
看護学科	885	86	85	94	87	79	81	79	77	77	1,630

内訳

- ・三重大学医療技術短期大学部 ……715名
- ・三重大学医学部看護学科 ……1,630名

大学院 医学系研究科

[入学定員及び現員]

(令和2年5月1日現在)

区分	収容定員		現員				合計	
	入学定員	総定員	1年	2年	3年	4年		
修士・博士前期課程	医科学	12	24	5	12		17	
	看護学	11	22	(5) 14	(10) 13		(15) 27	
博士後期課程	看護学	3	9	4	3	10	17	
博士課程	生命医科学	45	180	(32) 49	(29) 52	(28) 37	(47) 60	(136) 198
合計		71	235	(5)(32) 72	(10)(29) 80	(28) 47	(47) 60	(15)(136) 259

()内は、昼夜開講制による学生を内数で示す / ()内は、社会人特別選抜による学生を内数で示す

[学位(博士(医学))授与数]

(令和2年5月1日現在)

旧制学位	新制学位		合計
	博士課程	論文博士	
三重県立医科大学	333	1,501	1,095
			2,929

大学院医学系研究科・医学部について

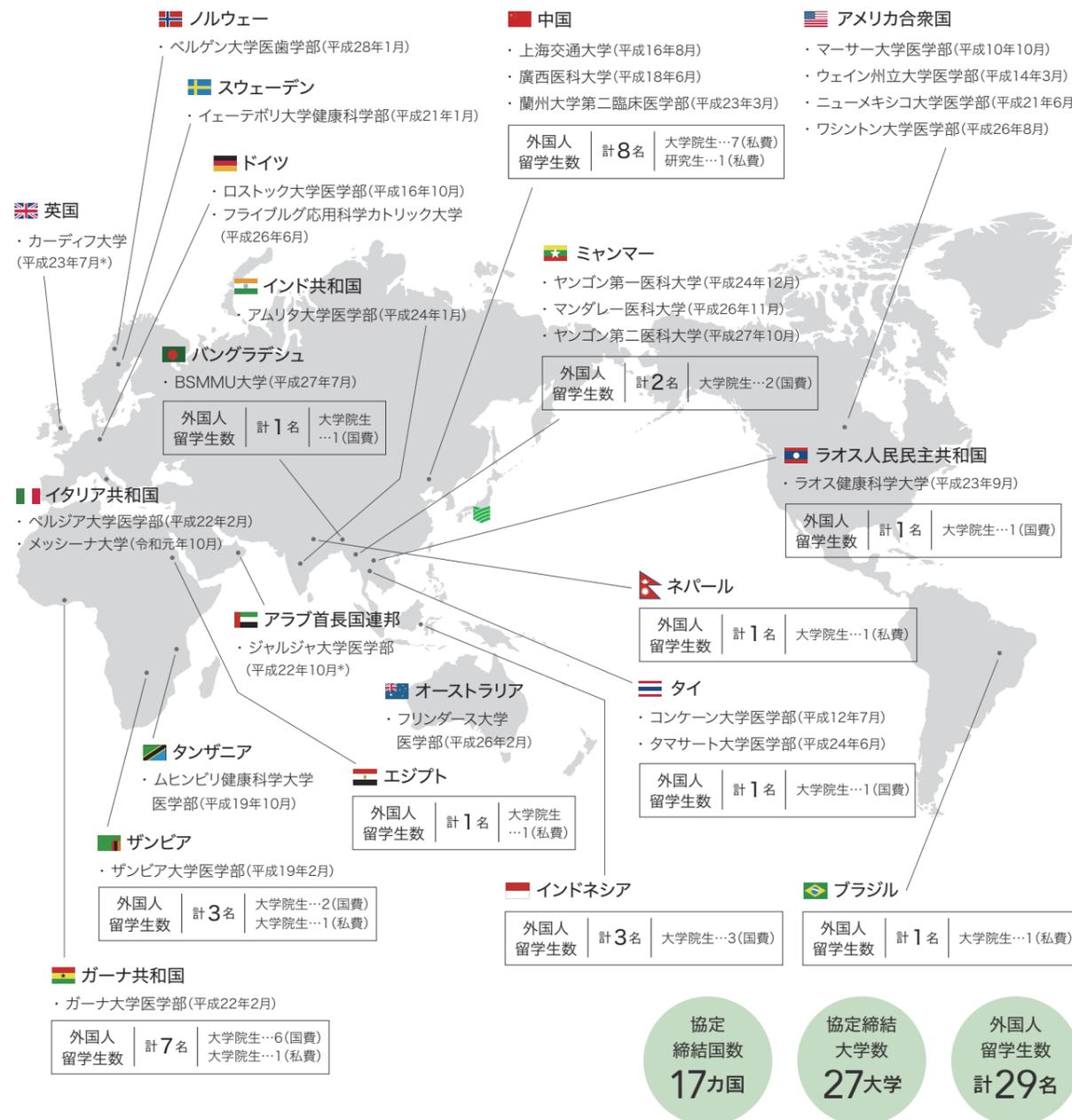
図書及び雑誌 Books and Journals

(令和2年3月31日現在)

区分	単行図書(冊)	製本雑誌(冊)	合計(冊)	区分	総種類数(種)	継続購入種類数(種)
和書	23,485	11,311	34,796	国内雑誌	622	95
洋書	2,752	22,227	24,979	外国雑誌	1,114	241
計	26,237	33,538	59,775	計	1,736	336

国際交流 International Exchange

[国際交流協定締結大学等(令和2年3月31日現在)・外国人留学生数(令和2年5月1日現在)] (日付は協定締結年月日/＊は大学間協定)



解剖体数 Number of Autopsies

(令和2年3月31日現在)

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	計
解剖体数	29	33	31	31	31	31	31	31	33	33	314
収集体数	41	44	34	49	65	42	47	47	49	39	457

[病理解剖]

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	計
解剖体数	14	24	20	20	19	16	18	12	23	11	177

科学研究費助成事業採択状況 Grants-in-Aid for Scientific Research

(令和元年度実績)

研究種目		件数	金額(千円)	計(件)	計(金額/千円)
特定領域研究	医学部			0	0
	附属病院				
新学術領域研究	医学部			0	0
	附属病院				
基盤研究(A)	医学部	1	11,400	1	11,400
	附属病院				
基盤研究(B)	医学部	9	31,800	9	31,800
	附属病院				
基盤研究(C)	医学部	82	91,600	121	137,300
	附属病院	39	45,700		
挑戦の萌芽研究	医学部			0	0
挑戦の研究(萌芽)	医学部	7	13,600	8	15,200
	附属病院	1	1,600		
若手研究(A)	医学部			0	0
	附属病院				
若手研究(若手研究(B)含む)	医学部	17	19,500	46	53,700
	附属病院	29	34,200		
研究活動スタート支援	医学部			0	0
研究成果公開促進費	医学部			0	0
特別研究員奨励費	医学部	2	1,700	2	1,700
	附属病院				
奨励研究	医学部			1	450
国際共同研究強化(A)	医学部			0	0
	附属病院				
国際共同研究強化(B)	医学部	2	5,400	3	6,800
	附属病院	1	1,400		
直接経費のみ 計	医学部	120	175,000	191	258,350
	附属病院	71	83,350		

外部資金受入状況 Origin and Division of Off-campus Funds

(令和元年度実績)

区分		件数	金額(千円)	計(件)	計(金額/千円)
奨学寄附金	医学部	1,228	635,958	1,299	718,224
	附属病院	71	82,266		
受託研究	医学部	22	299,132	25	304,650
	附属病院	3	5,518		
共同研究	医学部	42	137,598	45	138,171
	附属病院	3	573		
受託事業	医学部	5	33,646	11	86,610
	附属病院	6	52,964		
計	医学部	1,297	1,106,334	1,380	1,247,655
	附属病院	83	141,321		

医学部附属病院について

病院各階案内図 Guide to Hospital Floors

[病棟]

(令和2年5月1日現在)

	北棟	南棟	
12F	レストラン・三医会ホール		計
11F	血液内科/眼科/腫瘍内科/皮膚科		97床
10F	循環器内科/腎臓内科/総合内科	糖尿病・内分泌内科 リウマチ・膠原病センター 心臓血管外科	98床
9F	消化管外科/消化器・肝臓内科/肝胆膵・移植外科	呼吸器外科 呼吸器内科 放射線科	98床
8F	整形外科/形成外科	放射線科/脳神経外科/脳神経内科	99床
7F	産科婦人科/乳腺外科	周産母子センター	100床
6F	腎泌尿器外科 歯科口腔外科	小児科 小児外科	93床
5F	耳鼻咽喉・頭頸部外科	心臓血管外科(小児) 細胞移植療法部	76床
3F	中央手術部/臨床麻酔部/中央材料部/輸血部/臨床工学部/病理部/中央検査部	精神科神経科	
2F	総合集中治療センター 血液浄化療法部/光学医療診療部/中央放射線部		24床
1F	中央材料部/薬剤部/医療材料渡し口 救命救急センター救急外科/栄養診療部/時間外受付・防災センター	購買/理容室/美容室	合計 685床

[外来・診療棟]

5F	大ホール	臨床研修キャリア支援部 院内学級	がんセンター 患者図書館
4F	皮膚科 歯科口腔外科・口腔ケアセンター	精神科神経科	脳波検査室 肝炎相談支援センター
3F	総合診療科/中央採血室 リウマチ・膠原病センター/循環器内科 神経・筋電図室/消化器・肝臓内科/エコー室 心電図室/緩和ケア科/総合内科/感染症内科	呼吸器内科/呼吸器機能検査室 腎臓内科/運動機能検査室 血液内科 遺伝子カウンセリング室	腫瘍内科/外来化学療法部 糖尿病・内分泌内科 血管ハートセンター/腎泌尿器外科 オーダーメイド医療部
2F	一般外科/小児外科/整形外科/眼科 中央放射線部(X線撮影・透視・CT・MRI) 麻酔科(ペインクリニック・統合医療・鍼灸・漢方・慢性疼痛心理外来)	心臓血管外科/産科婦人科 消化管外科/肝胆膵・移植外科 小児科/高度生殖医療センター	脳神経外科/脳神経内科 呼吸器外科/乳腺センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科 形成外科/放射線科
1F	総合サポートセンター/臨床研究開発センター 放射線治療/リハビリテーション部/ローソン	臓器移植センター 栄養診療部/ドトール	各種受付/リボンスハウス ATMコーナー

附属病院の業務状況 Patient Service of University Hospital

[病床数及び患者数]

(令和元年度実績)

診療科	病床数	診療状況			
		入院		外来	
		患者延数 (人)	1日平均患者数 (人)	患者延数 (人)	1日平均患者数 (人)
血液内科	0	8,978	24.5	7,951	33.1
腫瘍内科	0	4,681	12.8	5,638	23.5
皮膚科	0	6,919	18.9	16,622	69.3
眼科	0	7,168	19.6	30,437	126.8
心臓血管外科・(小児循環器)	0	5,642	15.4	3,131	13.0
呼吸器外科	0	2,104	5.7	2,837	11.8
呼吸器内科	0	8,389	22.9	11,673	48.6
糖尿病・内分泌内科	0	1,646	4.5	14,773	61.6
循環器内科	0	9,957	27.2	16,836	70.2
腎臓内科	0	2,672	7.3	7,196	30.0
総合内科	0	548	1.5	738	3.1
肝胆膵・移植外科	0	14,608	39.9	7,740	32.3
消化管外科	0	10,031	27.4	10,300	42.9
小児外科	0	1,896	5.2	2,387	9.9
消化器・肝臓内科	0	10,494	28.7	20,811	86.7
脳神経外科	0	9,434	25.8	8,933	37.2
脳神経内科	0	6,372	17.4	10,860	45.3
整形外科	0	13,192	36.0	16,687	69.5
形成外科	0	1,870	5.1	3,648	15.2
放射線科	0	3,542	9.7	15,641	65.2
産科婦人科	0	11,727	32.0	15,490	64.5
乳腺外科	0	2,796	7.6	13,854	57.7
小児科・(小児循環器)	0	9,843	26.9	7,156	29.8
腎泌尿器外科	0	9,768	26.7	18,429	76.8
歯科口腔外科	0	3,650	10.0	22,355	93.1
精神科神経科	30	7,799	21.3	17,895	74.6
耳鼻咽喉・頭頸部外科	0	12,264	33.5	15,725	65.5
麻酔科	0	0	0.0	7,698	32.1
総合診療科	0	0	0.0	353	1.5
総合集中治療センター(救急科)	0	5,301	14.5	814	3.4
周産母子センター	0	17,378	47.5	0	0.0
リウマチ膠原病センター	0	972	2.7	4,702	19.6
緩和ケア科	0	0	0.0	4	0.0
感染症内科	0	0	0.0	86	0.4
高度生殖医療センター	0	0	0.0	8,300	34.6
ゲノム診療科	0	0	0.0	155	0.6
共通病床	655				
合計	685	211,641	578.2	347,855	1,449.4

※総合集中治療センター(救急科)患者延数は救急科患者数のみを計上

※外来の患者延数および一日平均患者数は、外来日数240日で計上 ※肝胆膵・移植外科に一般外科患者数を含む

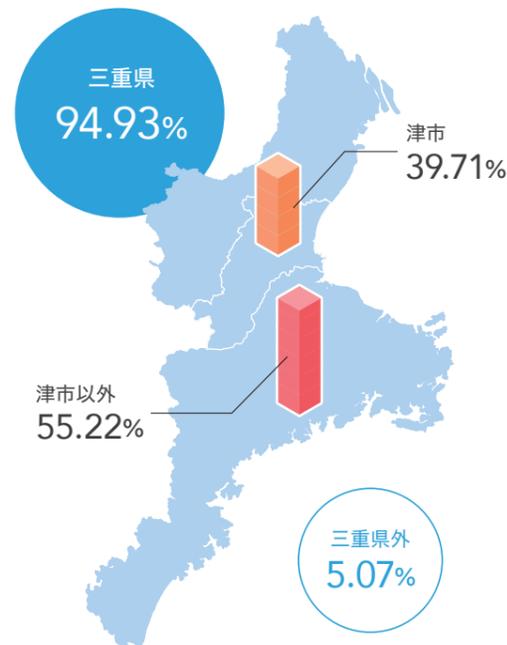
※平成30年度より一般病棟は共通病床化したため診療科固有の病床は保有しない

地域別患者数

[入院患者数]

(令和元年度実績)

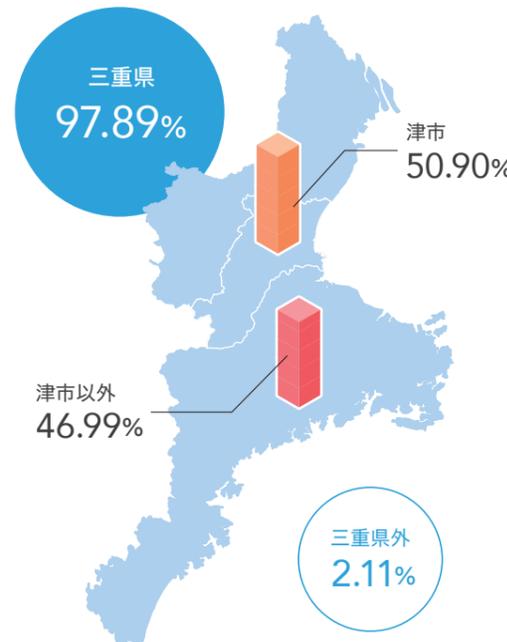
区分	入院延数(人)	%
三重県	200,918	94.93%
津市	84,042	39.71%
津市以外	116,876	55.22%
愛知県	3,271	1.54%
岐阜県	1,271	0.60%
静岡県	95	0.04%
東北	103	0.05%
関東	939	0.44%
北陸・甲信越	393	0.19%
近畿	4,098	1.94%
中国・四国	315	0.15%
九州	204	0.10%
その他(沖縄)	34	0.02%
合計	211,641	100.00%



[外来患者数]

(令和元年度実績)

区分	外来延数(人)	%
三重県	340,495	97.89%
津市	177,045	50.90%
津市以外	163,451	46.99%
愛知県	2,352	0.67%
岐阜県	668	0.19%
静岡県	143	0.04%
東北	22	0.01%
関東	621	0.18%
北陸・甲信越	109	0.03%
近畿	3,126	0.90%
中国・四国	176	0.05%
九州	77	0.02%
その他(沖縄)	54	0.02%
不明	11	0.00%
合計	347,855	100.00%



医療行為統計 Clinical Activities

[手術及び麻酔件数]

(令和元年度実績)

診療科	手術件数								麻酔件数		
	0~999点	1,000~2,999点	3,000~4,999点	5,000~9,999点	10,000~14,999点	15,000~19,999点	20,000点以上	計	0~999点	1,000点以上	計
脳神経内科	30	0	0	0	0	0	0	30	228	0	228
整形外科	8	15	37	91	89	123	476	839	714	1,092	1,806
産科婦人科	11	107	109	16	28	81	824	1,176	2,318	1,390	3,708
眼科	90	233	61	81	1,144	274	525	2,408	305	164	469
腎泌尿器外科	5	56	255	42	193	93	281	925	1,007	541	1,548
小児科	82	14	1	1	4	5	51	158	571	134	705
耳鼻咽喉・頭頸部外科	144	144	97	73	19	26	329	832	227	474	701
皮膚科	13	149	135	24	261	3	32	617	57	79	136
精神科神経科	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	8
歯科口腔外科	715	271	18	10	10	14	45	1,083	130	289	419
麻酔科	0	0	0	0	0	0	1	1	685	4	689
脳神経外科	19	39	3	3	87	11	339	501	189	511	700
総合内科	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
循環器内科	1	4	104	64	32	49	690	944	263	54	317
消化器・肝臓内科	2	0	116	441	488	162	174	1,383	1	2	3
呼吸器内科	0	1	0	1	0	5	0	7	0	0	0
腎臓内科	0	0	0	0	1	8	1	10	0	0	0
血液内科	3	0	1	0	0	16	0	20	0	20	20
腫瘍内科	0	31	0	0	4	92	0	127	5	1	6
糖尿病・内分泌内科	1	0	0	0	1	0	1	3	0	2	2
緩和ケア科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
一般外科	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
消化管外科	15	30	18	186	70	107	349	775	1,268	637	1,905
肝胆膵・移植外科	10	9	11	79	21	74	279	483	433	417	850
乳腺外科	2	31	0	200	11	16	299	559	167	321	488
小児外科	3	18	20	83	32	19	74	249	367	342	709
形成外科	28	83	62	50	27	27	106	383	93	182	275
心臓血管外科	7	7	137	14	8	5	415	593	133	774	907
呼吸器外科	6	0	2	0	3	10	200	221	477	289	766
放射線科	4	8	9	0	86	178	169	454	160	25	185
救急科	73	128	254	16	44	56	58	629	63	150	213
高度生殖医療センター	0	5	59	0	0	0	0	64	0	0	0
リウマチ・膠原病センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	1,274	1,383	1,510	1,475	2,663	1,454	5,718	15,477	9,866	7,898	17,764

[分娩数]

(令和元年度実績)

	成熟児	未熟児	計
正常分娩	177	28	205
異常分娩	240	82	322
計	417	110	527

[臨床検査件数(中央検査部、輸血・細胞治療部、病理部)]

(令和元年度実績)

区分	入院(件)	外来(件)	計(件)
一般検査	32,189	123,517	155,706
血液学的検査	262,254	320,396	582,650
生化学的検査	1,205,698	2,047,360	3,253,058
免疫学的検査	80,683	156,444	237,127
微生物学的検査	50,403	13,873	64,276
病理学的検査	12,872	10,986	23,858
その他の検体検査	15,436	17,487	32,923
生理機能検査	11,872	33,244	45,116
採血・採液等	71,092	82,072	153,164
計	1,742,499	2,805,379	4,547,878

[X線撮影、透視、CT及びMRI検査人数]

(令和元年度実績)

区分	入院(件)	外来(件)	計(件)	
一般撮影(単純)	31,621	38,923	70,544	
一般撮影(造影)	1,902	900	2,802	
X線CT検査	8,944	20,845	29,789	
MRI検査	3,053	9,627	12,680	
PET-CT	266	933	1,199	
放射線治療	体外照射	8,896	8,168	17,064
	腔内照射	113	34	147
計	54,795	79,430	134,225	

[処方枚数、件数及び薬剤数]

(令和元年度実績)

区分	枚数(枚)	件数(件)	薬剤数(剤)	
入院	140,348	274,701	1,688,925	
外来	院内	4,137	11,059	110,598
	院外	169,346		
計	313,831	285,760	1,799,523	

医療機関等の指定状況等 Services related Medical Care Legislations and Dates of Approval

医療機関の承認等

(令和2年5月1日現在)

昭和48.10.1	医療法による病院開設認可	昭和63.3.29	臨床修練指定病院(外国医師・外国歯科医師)
〃	総合病院の名称使用承認	6.1	健康保険法による特定承認保険医療機関
〃	健康保険法による保険医療機関	〃	国民健康保険法による特定承認保険医療機関
〃	国民健康保険法による保険医療機関	平成6.11.1	特定機能病院の名称承認
昭和57.4.27	消防法による救急医療機関承認		

医療機関の承認等

(令和2年5月1日現在)

昭和48.10.1	生活保護法による医療		
〃	結核予防法による医療		
〃	労働者災害補償保険法による医療		
〃	老人福祉法による医療		
〃	母子保健法による医療(養育医療、三歳児精密検診)		
〃	児童福祉法による医療(育成医療)		
〃	精神保健法による医療		
〃	身体障害者福祉法による医療(更正医療)		
〃	戦傷病者特別援護法による医療(更正医療)		
〃	特定疾患治療研究事業(スモン、ベーチェット病、重症筋無力症、全身性エリテマトーデス、多発性硬化症、再生不良性貧血)		
昭和48.12.7	船員法による医療		
昭和49.2.5	原爆医療法による医療		
4.1	小児慢性特定疾患治療研究事業(悪性新生物、慢性腎疾患、ぜんそく、先天性代謝異常、血友病等血痕疾患)		
9.1	公害健康被害補償法による医療		
10.1	特定疾患治療研究事業(サルコイドーシス、筋萎縮性側索硬化症、強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎、特発性血小板減少性紫斑病)		
〃	小児慢性特定疾患治療研究事業(慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病)		
昭和50.8.1	地方公務員災害補償法による医療		
〃	国家公務員災害補償法による医療		
10.1	特定疾患治療研究事業(結節性動脈周囲炎、潰瘍性大腸炎、大動脈炎症候群、ピュルガー病、天痘瘡)		
昭和51.10.1	特定疾患治療研究事業(脊髄小脳変性症、クローン病、難治性肝炎のうち劇症肝炎)		
昭和52.10.1	特定疾患治療研究事業(悪性関節リウマチ)		
昭和53.10.1	特定疾患治療研究事業(パーキンソン病)		
昭和54.10.1	特定疾患治療研究事業(アミロイドーシス)		
昭和55.4.1	母子保健法による医療(妊娠・乳児一般健診)		
12.1	特定疾患治療研究事業(後縦靭帯骨化症)		
昭和56.10.1	特定疾患治療研究事業(ハンチントン病)		
昭和57.10.1	特定疾患治療研究事業(モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症))		
昭和59.1.1	特定疾患治療研究事業(ウェゲナー肉芽腫症)		
昭和60.1.1	特定疾患治療研究事業(特発性拡張型(うっ血型)心筋症)		
11.7	労働者災害補償保険法による医療(アフターケア)		

医療機関の承認等

(令和2年5月1日現在)

昭和61.	1. 1	特定疾患治療研究事業(シャイ・ドレーガ症候群)
昭和62.	1. 1	特定疾患治療研究事業(表皮水痘症(接合部型及び栄養障害型))
昭和63.	1. 1	特定疾患治療研究事業(膿瘍性乾癬)
昭和64.	1. 1	特定疾患治療研究事業(広範脊柱管狭窄症)
平成 元.	10. 1	先天性血液凝固因子障害治療研究事業
平成 2.	1. 1	特定疾患治療研究事業(原発性胆汁性肝硬変)
	4. 1	小児慢性特定疾患治療研究事業(神経筋疾患)
平成 3.	1. 1	特定疾患治療研究事業(重症急性膵炎)
平成 4.	1. 1	特定疾患治療研究事業(特発性大腿骨頭壊死症)
平成 5.	1. 1	特定疾患治療研究事業(混合性結合組織病)
平成 6.	1. 1	特定疾患治療研究事業(原発性免疫不全症候群)
平成 7.	1. 1	特定疾患治療研究事業(特発性間質性肺炎)
平成 8.	1. 1	特定疾患治療研究事業(網膜色素変性症)
	2.21	エイズ治療拠点病院
平成 9.	1. 1	特定疾患治療研究事業(プリオン病)
	1. 6	地域災害拠点病院の指定
平成10.	1. 1	特定疾患治療研究事業(原発性肺高血圧症)
	4. 1	身体障害者福祉法による医療(更生医療)(ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害)
	5. 1	特定疾患治療研究事業(神経線維腫症Ⅰ型/神経線維腫症Ⅱ型)
	12. 1	特定疾患治療研究事業(亜急性硬化性全脳炎)
//		特定疾患治療研究事業(バット・キアリ(Budd-Chiari)症候群)
		特定疾患治療研究事業(特発性慢性肺血栓性肺高血圧症)
平成11.	4. 1	特定疾患治療研究事業(ライソゾーム病)
平成12.	4. 1	特定疾患治療研究事業(副腎白質ジストロフィー)
	10. 1	身体障害者福祉法による医療(更正医療)(小腸に関する医療)
平成19.	1.31	がん診療連携拠点病院の指定
平成20.	12.15	肝疾患診療連携拠点病院の指定
平成25.	2. 8	小児がん拠点病院の指定
平成30.	3.30	三重県アレルギー疾患医療拠点病院
令和 元.	9.19	がんゲノム医療拠点病院
令和 2.	2.26	特定行為研修指定研修機関の指定

基本診療の施設基準

(令和2年5月1日現在)

- 地域歯科診療支援病院歯科初診料
- 歯科外来診療環境体制加算
- 歯科診療特別対応連携加算
- 特定機能病院入院基本料
- 臨床研修病院入院診療加算
- 救急医療管理加算
- 超急性期脳卒中加算
- 妊産婦緊急搬送入院加算
- 診療録管理体制加算1
- 医師事務作業補助体制加算1
- 急性期看護補助体制加算
- 看護職員夜間配置加算
- 超重症児(者)入院診療加算・準超重症児(者)入院診療加算
- 看護補助加算1
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 無菌治療室管理加算1・2
- 緩和ケア診療加算
- 精神科身体合併症管理加算
- 摂食障害入院医療管理加算
- がん拠点加算1イ,2
- 栄養サポートチーム加算
- 医療安全対策加算1
- 感染防止対策加算1(抗菌薬適正使用支援加算)(感染防止地域連携加算)
- 患者サポート体制充実加算

基本診療の施設基準

- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ハイリスク妊婦管理加算
- ハイリスク分娩管理加算
- 呼吸ケアチーム加算
- 病棟薬剤業務実施加算1・2
- データ提出加算2
- 入退院支援加算2・3、地域連携診療計画加算
- 入院時支援加算
- 総合機能評価加算
- 精神疾患診療体制加算1・2
- 地域医療体制確保加算
- 救命救急入院料4
- 特定集中治療室管理料1
- ハイケアユニット入院医療管理料2
- 新生児特定集中治療室管理料1
- 総合周産期特定集中治療室管理料
- 小児入院医療管理料2

特掲診療料の施設基準

(令和2年5月1日現在)

- 心臓ペースメーカー指導管理料
- 高度難聴指導管理料
- 糖尿病合併症管理料
- がん性疼痛緩和指導管理料
- がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ
- 外来緩和ケア管理料
- 移植後患者指導管理料(臓器移植後・造血細胞移植後)
- 糖尿病透析予防指導管理料
- 乳腺炎重症化予防ケア・指導料
- 婦人科特定疾患治療管理料
- 腎代替療法指導管理料
- 外来放射線照射診療料
- 開放型病院共同指導料
- ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅱ)
- がん治療連携計画策定料
- 認知症専門診断管理料
- 肝炎インターフェロン治療計画料
- 薬剤管理指導料
- 地域連携診療計画加算
- 診療情報提供料(Ⅰ) 検査・画像情報提供加算
- 診療情報提供料(Ⅰ) 電子的診療情報提供料
- 医療機器安全管理料1・2
- 精神科退院時共同指導料2
- 歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
- 在宅血液透析指導管理料
- 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
- 持続血糖測定器加算
- 遺伝学的検査
- 骨髄微小残存病変量測定
- BRCA1/2遺伝子検査
- がんゲノムプロファイリング検査
- 先天性代謝異常症検査
- 抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
- HPV核酸検出
- HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
- ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
- 遺伝性腫瘍カウンセリング加算
- 検体検査管理加算(Ⅰ)(Ⅳ)
- 国際標準検査管理加算
- 遺伝カウンセリング加算
- 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- 時間内歩行試験
- シャトルウォーキングテスト
- 胎児心エコー法
- ヘッドアップティルト試験
- 皮下連続式グルコース測定
- 長期継続頭蓋内脳波検査
- 脳波検査判断料1
- 神経学的検査
- 補聴器適合検査
- 黄斑局所網膜電図
- 全視野精密網膜電図
- ロービジョン検査判断料
- コンタクトレンズ検査料1
- 内服・点滴誘発試験
- センチネルリンパ節生検
- CT透視下気管支鏡検査加算
- 画像診断管理加算1, 2, 3
- ポジトロン断層撮影
- ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影
- CT撮影及びMRI撮影
- 冠動脈CT撮影加算
- 血流予備量比コンピュータ断層撮影
- 外傷全身CT加算
- 心臓MRI撮影加算
- 乳房MRI撮影加算
- 頭部MRI撮影加算
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算

特掲診療料の施設基準

- 外来化学療法加算1
- 連携充実加算
- 無菌製剤処理料
- 心大血管疾患リハビリテーション料(I)
- 脳血管疾患等リハビリテーション料(II)
- 運動器リハビリテーション料(I)
- 呼吸器リハビリテーション料(I)
- がん患者リハビリテーション料
- 歯科口腔リハビリテーション2
- 認知療法・認知行動療法
- 精神科ショート・ケア及びデイ・ケア(小規模なもの)
- 抗精神病特定薬剤治療指導管理料
- 医療保護入院等診療料
- エタノールの局所注入(甲状腺・副甲状腺)
- 人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)
- 人工腎臓の導入期加算2(腎代替療法実績加算)
- 透析液水質確保加算2
- う蝕歯無痛窩洞形成加算
- 歯科技工加算
- 皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算)
- 皮膚移植術(死体)
- 組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る)【一次再建・二次再建】
- 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
- 骨移植術(軟骨移植術を含む)(同種移植術(非生体)(同種骨移植術(特殊なものに限る)))
- 骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る)
- 後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
- 椎間板内酵素注入療法
- 腫瘍脊椎骨全摘出術
- 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む)及び脳刺激装置交換術
- 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- 仙骨神経刺激装置植込術・交換術(便失禁)
- 角膜移植術(内皮移植加算)
- 羊膜移植術
- 緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
- 緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
- 網膜再建術
- 人工内耳植込術、植込骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
- 内視鏡下鼻・副鼻腔手術V(拡大副鼻腔手術)
- 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む)
- 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
- 上顎・下顎骨形成術(歯科診療に係るものに限る)
- 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(MRIによるもの)
- 乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪切除術(腋窩郭清を伴うもの))
- ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術
- 乳がんセンチネルリンパ節加算1,2
- 胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(内視鏡支援機器を用いる場合)(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
- 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)
- 肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る)
- 食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
- 胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
- 胸腔鏡下弁形成術
- 経カテーテル大動脈弁置換術
- 胸腔鏡下弁置換術
- 経皮的中隔心筋焼灼術
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ペースメーカー移植術(リードレスペースメーカー)
- 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
- 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
- 植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
- 植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術
- 両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
- 両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
- 大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
- 経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)

特掲診療料の施設基準

- 補助人工心臓
- 腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
- 腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 腹腔鏡下噴門側胃術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)
- 胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの)
- 腹腔鏡下肝切除術
- 腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く)、2区域切除及び3区域切除以上のもの)
- 生体部分肝移植術
- 同種死体肝移植術
- 腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
- 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
- 腹腔鏡下膵頭部切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く)
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
- 腹腔鏡下腎悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
- 腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 同種死体腎移植術
- 生体腎移植術
- 膀胱水圧拡張術
- 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
- 人工尿道括約筋植込・置換術
- 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器加算を用いるもの)
- 腹腔鏡下仙骨固定術
- 腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
- 遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術
- 胎児胸腔・羊水腔シャント術
- 輸血管理料(I)
- 貯血式自己血輸血管理体制加算
- 自己生体組織接着剤作成術
- 同種クリオプレシピテート作製術
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 歯周組織再生誘導手術
- 手術時歯根面レーザー応用加算
- 広範囲顎骨支持型装置埋入手術
- 麻酔管理料I、II
- 放射線治療専任加算
- 外来放射線治療加算
- 高エネルギー放射線治療
- 強度変調放射線治療(IMRT)
- 1回線量増加加算(全乳房照射)
- 画像誘導放射線治療加算(IGRT)
- 体外照射呼吸性移動対策加算
- 1回線量増加加算(前立腺照射)
- 定位放射線治療
- 定位放射線治療呼吸移動対策加算
- 画像誘導密封小線源治療加算
- 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
- 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
- デジタル病理画像による病理診断
- 病理診断管理加算2
- 悪性腫瘍病理組織標本加算
- クラウン・ブリッジ維持管理料
- CAD/CAM冠

先進医療A(第2項先進医療技術)

(令和2年5月1日現在)

平成25. 3. 1 | 末梢血単核球移植による血管再生治療

先進医療B(第3項先進医療技術)

(令和2年5月1日現在)

平成25. 1. 1 | パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん

平成25.11. 1 | コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法 コレステロール塞栓症

平成27. 7. 1 | インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法

平成28.11. 1 | 腹腔鏡下センチネルリンパ節生検早期胃がん

平成31. 1. 1 | 水素ガス吸入療法

- ▶ 三重大学大学院 医学系研究科・医学部 <https://www.medic.mie-u.ac.jp>
- ▶ 三重大学医学部 看護学科 <https://www.medic.mie-u.ac.jp/nur/>
- ▶ 三重大学医学部附属病院 <https://www.hosp.mie-u.ac.jp>

所在地・連絡先 〒514-8507 三重県津市江戸橋二丁目174番地
TEL 059-232-1111

[周辺案内図・交通のご案内]



近鉄電車「急行」で

名古屋より	近鉄名古屋駅	約60分	江戸橋駅	徒歩 約15分
京都・大阪より	伊勢中川駅	約15分	江戸橋駅	

近鉄電車「特急」で

名古屋より	近鉄名古屋駅	約50分	江戸橋駅	バス・タクシー 約15分
大阪より	大阪難波駅	約90分		
京都より	京都駅	約110分		

JR「快速みえ」で

名古屋より	JR名古屋駅	約50分	津駅	
-------	--------	------	----	--

- 近鉄・JR「津駅」から**
- 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「大学病院」(93系統)、「白塚駅」(06系統)行きの一部で、「大学病院」下車
 - 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「白塚駅」(06系統)、「千里駅」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊が丘」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「大学病院前」下車
 - 津駅からタクシーで約10分。
- 近鉄「江戸橋駅」から**
- 徒歩で約15分(江戸橋駅にはタクシー乗り場はありません)。
- 中部国際空港(セントレア)から**
- 津エアポートライン(船)で津なぎさまちへ40分
- 「津なぎさまち」から三重交通バスで「津駅前」まで約15分
 - 「津なぎさまち」からタクシーで三重大学まで約15分

PHOTO GALLERY 2020

三重大学病院 フォトギャラリー



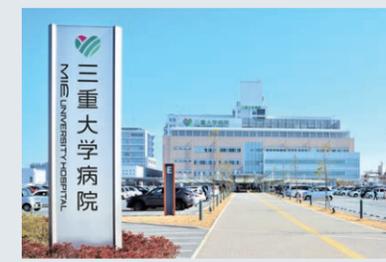
夕暮れの病院外観



エントランス



スタッフステーション



病院外観



小児外来



待合



病棟



磁気共鳴診断装置



放射線治療室



ハイブリッド手術室



ドクターヘリ



手術支援ロボット「ダヴィンチ」

国立大学法人 三重大学
大学院医学系研究科・医学部 医学部附属病院
概要(令和2年度/2020)

発行日/2020年10月
発行者/国立大学法人 三重大学
大学院医学系研究科・医学部 医学部附属病院
〒514-8507 三重県津市江戸橋二丁目174番地



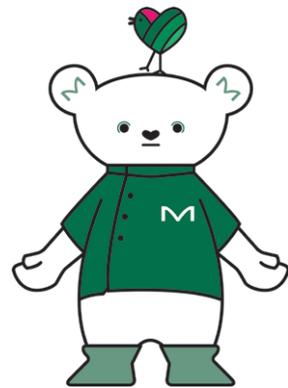
O U T L I N E 2 0 2 0



三重大学シンボルマーク



三重大学病院シンボルマーク



三重大学病院キャラクター
ミーベとミッピ